

こんにちは

保健師です

矢田 智子です



乳がん・子宮がん検診を  
受けましょう

「がん」とは、正常な細胞の遺伝子が何らかの原因で傷つくことよってがん細胞となり、勝手に増えたり、周囲に広がる病気です。血液やリンパ管を通じて違う場所に移ることもあります。これを「転移」といいます。

乳がん・子宮がんについて、考えてみましょう。



### 乳がん

乳がんは女性に一番多いがんで、主に40〜50歳代の発症や死亡が増加しています。日本人女性の15人に1人くらいが生涯で乳がんになる可能性がります。頻度は女性の100分の1くらいですが、男性もかかることがあります。

乳がんは乳房に固いしこりができる症状が特徴ですが、しこりがなく、乳頭から血液が出て見つかることもあります。乳がんは、小さいうちにみつけると、治せる可能性の高い病気です。早期発見で、適切な治療を受けた場合、90%以上は治ります。



一方で、乳がんは進行してしまおうとリンパ節や骨、肺、肝臓などの他の臓器にがん細胞が転移して、命に関わる症状を引き起こします。

乳がんのうち5%〜10%ほどは遺伝により発症すると言われていますが、遺伝によるものではない、乳がんを発症する方が現在には多い状況です。遺伝の他には、「初経が早い」、「閉経が遅い」、生活習慣に関するものだと、「アルコール過剰摂取」、「喫煙（受動喫煙を含む）」、「肥満」などが乳がんの発症の危険を高めます。

### 子宮がん

子宮の入り口にできるがんで、最近では39歳以下の日本人女性で子宮頸がんの発症や死亡が増えています。実は、20〜30歳代では乳がんに次いで多いがんです。

子宮頸がんのほぼ100%は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因です。HPVは、約80%の女性が一度は感染するウイルスですが、免疫の働きで自然に治る人がほとんどです。

しかし、一部の人で持続感染し「前がん病変」に、一部ががんに進行します。「前がん病変」とは、がんを発症しやすい状態になった組織のことですが、がん検診では「前がん病変」や、ごく初期のがんを高精度で発見できます。初期で治療を受けることができれば、妊娠や分娩が可能な状態で治せます。

早期発見が重要！  
検診を受けましょう

乳がん・子宮がんは検診での早期発見がその後の体の状態を左右します。できれば1年に1度、せめて2年に1度はがん検診を受けましょう。

占冠村でも乳がん・子宮がん検診を1年に1度行っております。ぜひ、この機会を上手に使って、家族で健康を保ちましょう。

#### 《乳がん・子宮がん検診》

日程：平成27年5月27日（水）  
時間：8時30分〜14時30分（受付）  
場所：占冠村コミュニティプラザ  
対象：村民  
料金：乳がん 1,000円  
子宮がん 細胞診 500円  
超音波検査 500円  
専用電話：39-8181

問い合わせ先  
占冠村保健福祉課  
56-21122

# すべては村びとのために 村びと紹介 No. 4

## 人に喜んでもらえる ものを作りたい

2010年に占冠村に移り住み、旧占冠小学校跡地に「しもかぶ工房」の作業場を構える、吉田耕一さんを訪ねる。

吉田さんは、技術を学び6年間の修行後、観光協会に入社。そこで、木工部門として木工品開発に取り組み、4年後の2014年に独立した。

「吉田さんは、芸術系なんですか？」と聞くと、「よく、そういう質問をされるんですけど、芸術系は自分が表現したいものを作るのに対して、自分は人に喜んでもらえるものを作りたい。」基本的にはオーダーがあって、例えばこんなテーブルがほしいと依頼があれば、どんな風にしようかと相手の話や状況を聞いて、よりよいものを作って喜んでもらえるのがうれ



しい。だから、芸術家というより技術や（職人）ですね（笑）」と話してくれた。

ククサなど木工品のほか、表札などのオーダーにも対応しているそうだ。

吉田さんは、どんな性格の方なのか？そのために聞いてみた質問は血液型。（4種類で判別はできないが・・・）

吉田さんはA型。きめ細かな作業を必要とする木工品作りは、適職なのかもしれない。「性格が几帳面だと、仕事場で、厳しかったりするのでは？」と、失礼ながら恐る恐る聞くと、

「ほくは、自分で考えたりして作り上げてきたので、基本的には、あーしろこーしろとは細かく言いませんよ」と即答。「技術は教えられるものではなくて盗み取れ！」といった職人気質の方のようだ。木工品の仕上げの工程には、

吉田さんしかできない技術があるという。そして、「よく工房をやっている人は、のんびり、気まま、自由という印象を持たれるが、全然そうではないです。」と続く。ククサ100個を約一カ月かけて仕上げるというが、手作りとして時間をかけられないのも現実。とても性格がおだやかそうに見えていたが、堅実な経営者の顔ものぞかせる。それでも、木工品を手にもらえる相手を喜ばせたいと作り続けているのだ。

やっぱり、吉田さんは「芸術家」ではなく「職人」だと実感した。

## ご存知ですか？ こんな情報・制度



Q 一般の人は「むらびと交通」を利用できないの？

A 村内には「村びと交通」の他に、一般のタクシー営業もされていますので、ご利用ください。

※予約電話番号は、「村びと交通」と同じ0167-56-2828になります。

## お歳を召しても安心して暮らせる村であるために 「むらびと交通」

村では、一般のタクシーとは別に、一定の条件を満たす方が病院や福祉施設等を利用する場合などに利用できる「むらびと交通」があります。

利用できる方は、次のとおりです。

- ①65歳以上の村民とその付き添いの方
- ②小学校入学前の乳幼児（村民）とその付き添いの方
- ③身体障害者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの村民とその付き添いの方
- ④生活保護受給世帯の方（村民）
- ⑤妊娠の方（村民）

※利用するには事前登録が必要になり、利用する時に電話予約となりますが、先着順となり希望日に利用できない場合があります。

担当部署が変わりました。

※詳しくは、今月号のチラシ折込をご覧ください！

問い合わせ

産業建設課環境衛生担当

電話 56-2173